

大町市長から市民の皆様へのお願い (No.13)

～ 年度末・年度初めを迎えるにあたって ～

2月16日、全県の新型コロナウイルス感染警戒レベルが1に引き下げられ、新規感染者数も一時に比べ落ち着いています。

しかし、人の移動や会食が多くなる年度末・新年度を迎えるにあたり、改めて感染防止対策を徹底することが、この時期以降の感染状況を押さえ、医療の提供体制を守るために大変重要です。

市民の皆様におかれましては、引き続き、感染防止の取組みをお願いするとともに、会食の機会も増える時期ですので、感染防止ガイドラインを遵守している店舗を利用いただき、密な空間での大人数・長時間での会食は控えていただきますよう、お願いいたします。

あわせて、感染症は、誰もが感染しうるものという認識の下、お互いに気持を寄せ合い、冷静な対応をお願いします。残念なことに、いまだに新型コロナウイルス感染症をきっかけとした、誹謗中傷や差別で苦しんでいる方がいます。ウイルス感染症に対する誤った考え方や不確かな情報により、感染した方やその家族に対して、また、感染拡大地域との往来の有無や職業・国籍などにより、不当な差別や偏見は絶対にあってはなりません。

憎むべきはウイルスであって、決して人ではありません。万が一ご自身がそうした立場になってしまった時のことを思いうかべ、お一人おひとりが思いやりの心を持ち、支えあいの輪を広げていきましょう。

市立大町総合病院はじめ、医療現場では、今も最前線で新型コロナウイルス感染症と懸命に闘っている方たちがいます。

私たちの命と健康、そして人権を守るために、ぜひご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和3年2月26日

大町市長

牛越 徹